

南丹市教育委員会会議録

令和元年第9回定例会

(令和元年9月26日)

令和元年南丹市教育委員会第9回定例会会議録

1. 日 時 令和元年9月26日(木)
開会 午後3時30分 閉会 午後5時20分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 木村 義二
5. 出席委員 教育長 木村 義二
教育長職務代理者 武田 義史
委 員 高屋 毅史
委 員 城戸 貴子
委 員 湊上 真奈美
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 中川 勇夫
教育参事 榊 貢
教育総務課長 福井 修
学校教育課長 山内 紀子
学校教育課参事 湯浅 裕晃
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 なし

日程1 開会

教育長が令和元年南丹市教育委員会第9回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に福井教育総務課長を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4

報告事項

(1) 主な行事報告等

(教育次長)

- 8月18日 博物館の夏季企画展の「江戸時代の暮らし」に併せて図書館との共催による「江戸時代の昔話とからくり人形づくり」を博物館で行った。江戸時代を背景にしたお話3作の読み聞かせと、紙コップを使ったからくり人形作りを行い、当日は7名の参加があった。
- 8月20日、地域と学校での教育活動をつなぐコーディネーター（地域学校協働活動推進員）の委嘱状交付式を行った。
今年度3人目の委嘱で八木町にお住いの秋田裕子氏に委嘱を行った。
- 8月20日、人権教育啓発推進委員の研修会を開催した。
人権推進協議会との連携による啓発推進委員の研修会を8月20日から30日までの間に、旧町単位で実施した。20日園部、23日八木、27日日吉で行い、セクシャルマイノリティーを題材にしたDVDを視聴後、グループ毎での意見交換を実施した。なお、美山地区は当日の台風接近による警報発令により9月19日に延期した。
- 8月23日、令和元年度「市長と語ろう私たちのまちづくり」を開催した。
本年度のテーマを「環境・エネルギー問題」として児童生徒から提言を受けた取り組みを通じ、南丹市の環境を良くする機運が高められた。子ども達からはエコバッグの取り組みの提案が一番多く、市長も「今日から市として取り組みをスタートさせたい」と、市の政策に活かす発言をされる等、開催趣旨の目的が達成できた。
- 8月26日、南丹市教育委員会事務の点検・評価意見聴取を行った。
3名の委員より評価を頂き、南丹市の取り組みについて、情報発信の必要性についての指摘があった。
- 8月28日、南丹市議会9月定例会が開会した。
一般会計補正予算案や昨年度決算、新たな条例など26議案が提案、審議された。このうち、生涯学習施設条例と関連する公の施設条例一部改正の2議案については撤回となり、再度12月議会で審議される予定となった。
また、最終日の9日には追加議案として、園部公民館耐震工事に係る工事請負契約、八木西・東小学校プール工事請負契約などについて審議されることとなっている。
- 9月7日 南丹市人権講演会を開催した。南丹市と教育委員会、南丹市人権教育・啓発推進協議会が共催で実施し、200人余りの参加があった。
今回はダウン症の次男を育てておられる、女優の奥山佳恵さんが、障害を個性としてとらえる、楽しい子育ての実体験を話された。
奥山さんは高校2年と小学2年の2人の息子の子育てを通して、医師から次男が染色体に異常があるダウン症との告知を受け、次男について「ダウン症の子はゆっくり大きくなる。歩き方や食べ方が遅くても多くの方が支えてくれる」といったことや「少数派への配慮が多数派を生きやすくする」ことから優しさの貯金をするのが大切といったことについて話され、「あなたはあなたのままでいいよと

言い合える世の中になったら、みんな笑顔になれる」と締めくくられた。

■ 9月10日、定例の校園長会議を開催した。

夏バテに入る時期であり、体調管理に気を付けることや、関東での台風被害を踏まえ今後の天候異変への対応、また幼稚園教育から小中の連携強化の担当として配置した指導主事の紹介があったほか、以下について説示・指示事項があった。

1点目、園・学校経営の中間点検と評価について、職員の意見を聞きながら取り組むこと。

2点目、「市長と語ろう私たちの町づくり」について、本年度も意欲的な意見の発表があった。環境に対する提言を市政につなげ、環境に通じる図書を購入について次年度計画していく。

3点目、新聞記事に掲載された民間の保育所建設候補地に、令和3年4月小山東町に150～160人規模の民間の保育所が待機児童の解消と定住促進の取り組みに向けて建設される。

4点目、教職員の働き方改革について、本市の教職員の総勤務時間の削減の目標値を京都府と同様に20%としていたが、京都府も本数値について難しいと判断して、1か月45時間、年間360時間を目標値としたことから、今後業務改善研究会で検討を進めていく。

また仕事を効率よく進める風潮を管理職から作ってほしい。中学校は部活動、生徒指導があるが、生活と仕事のバランスを取ってほしい。

5点目、校長、園長に求められるものとして、「やりがい感」を持つ事が大切であり、学校の魅力につながるよう、校長は感謝の気持ちを持たないと子どもや教職員はやりがい感を持たなくなるので、いろんな場面で感謝の気持ちを出すようにすることが大切である。

6点目、熱中症対策について、議会でも熱中症について心配されている。水分補給やテントの配置等の工夫をしてもらっているが、引き続き熱中症対策に意識的に取り組むこと。

またそのほかにも、以下の2点について報告があった。

園部中学校の甲斐彩京さんが京都府のジュニアオリンピックで優勝し、10月12日に神奈川県で開催される全国ジュニアオリンピック大会に出場する。市教育委員会においても、9月13日壮行会（激励会）を行った。

園部第二小学校体育館を使用している南丹市スポーツ少年団空手選手の荒賀龍太郎氏がプレ東京大会で世界一になって、東京オリンピックの候補者に近づいた。

口丹地区からオリンピック選手を出すのは悲願であり、子どもがオリンピック選手になることも目指してほしい。スポーツ少年団の子どもは、自校の生徒であるため、自己肯定感につながるよう誉めてほしいと報告と説示があった。

また、説示の後、事務局各課から所管事務に係る依頼や説明を行った。

(2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告。

(3) 令和元年9月議会定例会における一般質問について

(事務局)

資料に基づき報告。

(4) 令和元年度 南丹市立小・中学校実勤務調査について

(事務局)

資料に基づき報告。

(5) 令和元年度 南丹市立学校・園教員表彰について

(事務局)

資料に基づき報告。

日程5 議事

議案第42号 南丹市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(高屋委員)

給食費の3,500円という数値について、幼稚園で給食の提供は行っているのか。

(事務局)

八木中央幼児学園の短時部では副食の提供を行っている。

[採決]

議案第42号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第43号 「南丹市教育委員会事務の点検・評価」の結果報告について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(高屋委員)

6 ページに達成目標として、「京都府の平均を上回る」とあるが、現状と目標の設定が特に記載されていないので、具体的に教えていただきたい。

(事務局)

子どもたちの学力の向上を目標としており、京都府で行っている学力診断テストの本市の結果が、府の平均を上回ることが学力の定着の1つの指標となるため、このような目標としている。

(高屋委員)

現状は京都府の平均を下回っているのか。

(事務局)

実施年度や教科、学校により様々である。事業を行ったことに対しての達成指標をどこに持ってくるのかということで、京都府の平均を上回るように定着を図っていきたいということとしているものであり、前年度や現在が下回っているから、上げて行こうというものではない。

(高屋委員)

予算は京都府からもらっているのか。

(事務局)

南丹市の一般会計の中で、予算としてあげている。

どの学校や学年であっても、毎年度の調査で府の平均を上回る学力をつけていきたいということで目標として掲げているが、一つの事業で学力をつけることは難しいので複数の事業を通して、取り組んでいる。

(高屋委員)

「京都府の平均を安定的に上回る」という形で書いてはどうか。

(事務局)

そのように記載したいと考える。

(武田委員)

「点検・評価」は一年間の教育委員会の活動・仕事についての通知簿と認識している。A評価を目指す中で、B評価になっているものについては、いただいたコメントを実践し、A評価を目指してもらいたい。

重伝建のような文化財については観光にも大きく貢献しており、そこに住む人の心の中に誇りが生まれたり、UターンやIターンにつながっていると考ええる。景観を守るという観点で、新たな文化財の発掘につなげてもらいたいと考える。

文化財を保存していくことは地域にとってさまざまな負担になるが、地域を盛り上げる大きな力も持つので、人口が減りつつある中で、南丹市の発展のため文化財を残し、その力を生かしてもらいたい。

報告書の評価のみでなく、今後も継続的に力を入れて取り組んでもらいたい。

(高屋委員)

26ページの展示会事業の箇所、一つの展示会で入館者500人を指すと記載があるが、開催日数がそれぞれ異なる。

開催日数はどのように決めているのか。

(事務局)

テーマを持って展示を行う際に、展示物としての資料を様々な機関から借用等を行い収集しており、その借用の対応可能日数等によって、展示会の開催日数も異なる。

[採決]

議案第43号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第44号 南丹市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第44号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第45号 南丹市放課後児童健全育成事業に関する条例施行規則の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(高屋委員)

放課後児童クラブを利用するに当たり、提出いただく就労等証明書について、勤務曜日と時間の欄があるが、何日に何時間以上勤務していなければならない等基準はあるのか。

(事務局)

その欄の記載通り勤務されているという証明がなされたときには、家庭における保育が欠けると判断される。また勤務時間数に係る基準は設けていない。

(高屋委員)

では、一度申し込めばどの曜日の、どの時間でも利用できるということか。

(事務局)

現在の運用は、その形であるが、もし利用する家庭が増え、対応しかねる状況の折は、証明書のデータを基に整理をさせていただく形としている。

[採決]

議案第45号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第46号 南丹市指定文化財の追加指定について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第46号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第47号 南丹市地域学校協働活動推進員の委嘱について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第47号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

日程6 その他

- (1) 行事予定
- (2) 学校教育課から報告

(城戸委員)

いじめ調査のアンケートについて、書式等は一定のものなのか。

(事務局)

府の様式をひな形にしている。学校によっては府様式をベースとして質問を変えたりしている。

(城戸委員)

実施の方法について、項目に○を記載する部分の後に記述する部分があり、記入している様子が他の生徒にわからないようにしている高校があると聞いたので参考にしてほしい。悩みを抱える児童生徒を早期に見つけ出せるように日々工夫していただきたい。

(事務局)

中学生は特に書いていることを誰かに悟られたくないという心理も働く。調査についてはアンケートのみでなく担任と個人面談を行い、確認を行うよう配慮しており、普段の日常の中でも観察を行うよう心掛けている。

(淵上委員)

いじめをもとに不登校になったりもすると考えるが、いじめ調査の結果について教育委員会に報告されるのは一件ごとか、重大事象のみ報告されるのか。

(事務局)

いじめの定義に基づき、心身にいやなことをされたと感じる児童生徒がいるのであれば、それはいじめであるとして学校では1件ごとに認知し、共通理解を図っている。その背景にいじめとしての被害行為や加害行為について指導の必要性があるかどうかを学校で判断され、最終的に学校として組織的に見ていく必要がある事案については教育委員会に報告がある。

また不登校についても、毎月各学校からその状況等について報告がある。いじめが原因で30日以上登校していない場合については重大事案として教育委員会に報告があるが、現在そのような事案は発生していない。

(3) 社会教育課から報告

[次回定例会について]

(教育長)

次回の定例会の日程について令和元年10月23日(水)午後3時30分から開催としたいがどうか。

(委員)

教育長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後5時20分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により、ここに署名する。

令和 年 月 日

南丹市教育委員会教育長

南丹市教育委員会教育長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

(会議録調整者)

南丹市教育委員会教育次長
